

〔科目名〕 特別支援教育論	〔単位数〕 1 単位	〔科目区分〕 教職科目(必修)
〔担当者〕	〔オフィス・アワー〕 時間: 場所:	〔授業の方法〕
〔科目の概要〕 本科目では、障害者の人権と特別支援教育の基本的な考え方を学ぶ理解することから始め、特別支援教育の制度と歴史、障害の特性と程度に応じた教育のとらえ方と方法を学んでいく。これらを通して、一人ひとりの教育を受ける権利と教育の必要性が障害の有無によらないことを理解したうえで、教職を目指す学生として、特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒との望ましい関わり方を考えていく。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 発達障害を含む様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒は、通常の学級にも在籍しているが、彼らが授業等の学習活動に主体的に参加し学ぶことができるよう、学習上および生活上の特性と困難を理解したうえで、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していく必要がある。 本科目を学ぶことで、これらの対応をするために最低限必要な知識や支援方法を理解することができる。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 最終目標: 個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 中間目標: 1. 発達障害を含む特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。 2. インクルーシブ教育の理念を含めた特別支援教育に関する理念、歴史、制度、教育課程や支援の方法を理解する。 3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上および生活上の困難とその対応を理解する。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 「毎回のレポート提出で、授業の内容がより深められる」「課題があることで、自分で調べて知識をつけられる」「子どもたちの障害などについて考えるととても良い機会になった」などの積極的な意見が多かったのは素晴らしいことです。課題として示された事例について実際に自分で考え、レポートにまとめることで、より深い理解につながりますので、是非積極的な受講を求めます。 「復習の時間が長すぎる」「授業の後半のペースがとても早い」という意見がありましたので、時間配分を見直したいと思います。		
〔教科書〕 特別支援教育の基礎, 松山 郁夫 編著, 芳野 正昭 編著, 学文社, 2020. ISBN:9784762029875		
〔指定図書〕		
〔参考書〕 特別支援教育の基礎理論 第2版, 斎藤佐和, 教育出版, 2016.		

〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業中の課題および定期試験(または期末レポート)により総合的に評価する。	
〔評価の基準及びスケール〕 履修規定に準ずる。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 実践的に考える授業としたい。積極的に授業に参加するようお願いいたします。	
〔実務経歴〕 なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 障害児者の人権および発達と教育 内 容: ・特別支援教育の基本的な考え方、・障害のとらえ方と社会の役割 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 公教育の進展と障害のある子どもの教育 内 容: ・特殊教育の成立と課題 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 特殊教育から特別支援教育への転換 内 容: ・最近の障害者施策をめぐる国内外の動向と制度整備 学校教育法改正・障害者基本法・発達障害者支援法・障がい者制度改革推進会議 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): 特別支援教育を支える仕組みと専門性 内 容: ・障害別教育の概要(視覚、聴覚、知的、発達、肢体、病弱)、・発達の過程とアセスメントの意義・目的、個別的教育支援計画、特別支援教育コーディネーター、特別支援連携協議会等 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 教育課程の基本要素と個別的教育支援計画・指導計画 内 容: ・キャリア教育と進路指導・自立活動・情報機器の活用、・個別の指導計画作成の課題と方法 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 後期中等教育段階での生徒の現状と特別支援教育の課題 内 容: ・教育的支援、キャリア教育と就労支援 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): わが国の特別支援教育の課題と展望 内 容: ・障害はないが特別的教育的ニーズのある生徒の支援、・近年の教育現場での課題と UDL の動き、・インクルーシブ教育の制度化と法整備 教科書・指定図書
試験	